

今回報告の定例会は

3月
12月 6月
9月

令和5年9月号

たてやま議会だより



未来に残したい館山の風景



やわたんまち

撮影：渡辺秀夫さん

6月定例会

原案可決

物価高騰対策（低所得世帯、中小企業支援等） 北条小プール建替え等補正予算のほか 北条幼稚園無償貸付など26件を議決

令和5年6月定例会は6月8日に招集され、6月28日までの21日間の会期で開催し、市長提案の条例議案6件、一般議案2件、補正予算議案3件、請願2件、発議案2件、人事案件11件を審議しました。

初日に、物価高騰対策等の補正予算1件を先議し、原案どおり可決しました。条例議案6件、一般議案1件、補正予算議案1件、請願2件は、所管する常任委員会に審査を付託しました。

15日及び16日は、12人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えを問いました。

21日は一般議案、補正予算について質疑を行いました。

最終日には各委員会の審査結果が報告され、その後、追加の補正予算議案1件、一般議案1件、人事案件11件、発議案2件の審議を行いました。

最後に討論、採決を行いました。



森市長が提案理由を説明

全ての議案を原案どおり可決し、閉会しました。

6月定例会に提案された主な議案と委員会の審査内容を紹介します。

◇議案第36号 令和5年度館山市一般会計補正予算（第2号）（先議）

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ5億7千182万7千円を追加し、総額254億1千871万2千円とするものです。

歳出の主な内容としては、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援として、住民税非課税世帯に対する給付金、私立の保育所

及び幼稚園に対する支援給付金のほか、中小企業に対するエネルギー価格高騰対策支援給付金や食料品価格の上昇が見込まれる学校給食の材料費の増額を行うものです。このほか、総務費では、コミュニティセンターの誘導灯の改修事業、衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種の接種期限延長に伴う事業費を増額するものです。

歳入の内容として、国庫支出金、繰入金及び市債の増額、債務負担行為の補正として、子ども・子育て支援事業計画策定委託料の変更、地方債の補正として、コミュニティセンター整備事業を変更するものです。



議
先とは？

通常、議案は委員会審査を経て採決しますが、緊急の理由により、議決を急ぐ場合があります。

一般議案質疑

◇議案第38号 館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 現在、若潮ホールを利用している団体の活動場所は確保されていますか。

答 利用している12サークルと「館山ファミリースポーツクラブわかしお」3教室を対象に、アンケート調査や相談窓口の開設、現地案内等を実施してきました。その結果、サークルと教室を合わせた12団体がコミュニティセンターや豊津ホール、菜の花ホールなどへの移転を決めており、その多くが既に移転先で活動を再開しています。まだ「移転先を検討中」とするサークル等も3団体あり、引き続き、スムーズな移転ができるように丁寧なサポートを進めていきます。



問 利用者と地域住民の合意について伺います。

答 昨年9月に船形地区連合区長と那古地区連合町内会長に若潮ホールの閉館について説明しました。その際、各区長を集めた説明会の必要はなく、閉館日が決定次第、各区長へ文書で伝えることや館山市の広報で知らせるようご教示いただきました。これにより、今年度に入り、文書の発送や館山市の広報紙、新聞への掲載を通じて周知を図りました。また、利用サークルに対して昨年10月に説明会を開催し、若潮ホールの閉館及び活動場所の移転についてご理解をいただいたと認識しています。

常任委員会

3つの委員会が所管する部門や事務に関する調査、付託を受けた議案・請願などを審査します。

総務

委員長 昇 宏一
委員 月 敏 二
副委員長 望 井 野
委員 鈴 石 渡
委員 木 佐 東

総務委員会には、1件の議案が付託され、慎重審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。主な質疑応答は次のとおりです。

◇議案第44号 令和5年度館山市一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ1億2千228万円を追加し総額255億4千99万2千円とするものです。

問 生活保護システム改修事業に関して、過去にも数回改修をしていますが、自治体ごとに改修するのですか。

答 生活保護制度は国の制度であり、10月以降の生活保護基準の改正のため、全国一

斉に改修をするものです。

問 コミュニティ医療推進活動支援補助金に関して、この補助金は、安房医療福祉専門学校に対し、看護師の養成を目的として補助されるのですか。

答 コミュニティ医療推進活動に対する補助であり、そのうちの一つである地域医療の維持に資する看護師の育成・確保に関する事業に充てています。

問 市営住宅施設改修事業に関して、那古住宅はあと何年くらい使用可能か伺います。

答 令和31年度まで約30年近くは使用できると考えています。

問 学校プール整備事業に関して、新しいプールは省エネなど汎用性またはSDGsに対応した施設になるのか伺います。

答 新しいプールの構造はステンレス製で、リサイクルに対応したものです。プールサイドは滑りにくいビニール床シート、プールサイド南東側の一部に日よけのスペースを設けます。また、プールの出入口をバリアフリーにし、プール西側・南側のフェンスを

目隠しフェンスにする予定です。

問 新しいプールは、認定こども園の園児も利用するのかわかります。

答 現在のプールも園児は利用していません。新しいプールについても利用は考えていません。

問 債務負担行為補正説明書の学校プール整備事業に関して、地方債の交付税措置の割合を伺います。

答 50パーセントが地方交付税で措置されます。



総務委員会の様子

文教民生

委員長 孝 浩
委員 月 順 子
副委員長 望 浩
委員 鈴 敬 明
委員 木 井 子
委員 田 井 里
委員 太 石 榮
委員 本 澤 栄

文教民生委員会には、6件の条例議案と2件の請願が付託され、慎重審査の結果、全ての議案及び請願について、全員一致をもって、原案どおり可決・採択されました。主な質疑応答及び討論は次のとおりです。

◇議案第37号 館山市立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例の制定について

問 預かり保育にかかる対象人数について、現状と今後について伺います。

答 北条幼稚園は、定員60人で61人の利用があり、今後、こども園化が予定されていますが、現状維持とされています。那古幼稚園については、定員25人で12人の利用があり、今後については、純真保育園の受け皿の一部としているので、増えていく見込みです。

◇議案第38号 館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 若潮ホール廃止後の代替施設について伺います。

答 コミュニティセンター、豊津ホール、菜の花ホール等を紹介していますが、単独で探している利用者もいます。

◇議案第40号 館山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 「利用定員の総数を超える場合においては、抽選、申込を受けた順序により決定する方法」とあるが、抽選なのか伺います。

答 今までは利用定員の超過がありませんでしたが、超過した場合は、抽選、申込のいずれかの手順により決定したいと考えています。





文教民生委員会の様子

◇議案第42号 館山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 職員に対し、安全計画の周知及び研修・訓練をどのように定期的に行うのか伺います。

答 公設学童クラブは、運営を委託しており、委託事業者において訓練等を実施しています。事業者とは週1回、定期的な情報交換しながら連携しており、その中で報告を受け、状況を把握しています。研修については、受講状況を報告することとなっているため、こども課で把握しています。

【討論】議案第38号

館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本会議

【反対討論】渡辺雄二議員

若潮ホールの廃止により地域住民の学ぶ場が損なわれ、地域活力及び市への信頼度の低下が懸念されます。



ので、この議案には反対します。

本会議

【賛成討論】長谷川秀徳議員

都市計画道路船形館山線の整備に伴い、若潮ホールを廃止するもので、この施設は、元は県の所有物で館山市が使用させてもらっているものです。この施設を使用している各種団体は、館山市の他の施設に移動が概ね決まっております。施設の廃止に問題はないと思います。

【討論】請願第1号

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

本会議

【反対討論】石井敏宏議員

他の地方公務員の給与は全て地方交付税措置されており、国の補助金がない仕組みです。教職員だけが国の補助金があるのは制度設計として分かりづらいため、教職員の給与も交付税措置に切り替えても問題ないと思います。

国民に等しく義務教育を保証するという観点から財政を下支えしている義務教育費国庫負担制度は必要不可欠です。地方交付税措置となると義務教育費に使われることが明確にならず、自治体間の格差につながります。義務教育の円滑な推進がされるよう義務教育費国庫負担制度の堅持を強く求めます。



国民に等しく義務教育を保証するという観点から財政を下支えしている義務教育費国庫負担制度は必要不可欠です。地方交付税措置となると義務教育費に使われることが明確にならず、自治体間の格差につながります。義務教育の円滑な推進がされるよう義務教育費国庫負担制度の堅持を強く求めます。

【賛成討論】鈴木順子議員

国民に等しく義務教育を保証するという観点から財政を下支えしている義務教育費国庫負担制度は必要不可欠です。地方交付税措置となると義務教育費に使われることが明確にならず、自治体間の格差につながります。義務教育の円滑な推進がされるよう義務教育費国庫負担制度の堅持を強く求めます。

建設経済

委員長 長谷川秀徳
副委員長 石井信重
委員 秋山光章
鈴木正一
瀬能孝夫
安田邦春

建設経済委員会には、1件の議案が付託され、慎重審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。議案の内容と主な質疑応答は次のとおりです。

◇議案第43号 市道路線の認定について

問 市道路線の認定の条件を伺います。

答 館山市市道認定要綱に要件を定めており、その例として、起点及び終点がそれぞれ市道、県道、又は国道に接続する道路であること。都市計画法、その他法律に基づき地域開発に特に必要と認められ、市に帰属を受けたもの。有効幅員が4メートル以上であることや、道路側溝の流末が公の経路により適切に処理されていること等となります。

問 市道認定に至る経緯、きっかけを伺います。

答 宅地造成を目的として開発で造られた道路であり、館山市内では3千平方メートル以上の開発行為は、都市計画法により千葉県が許可が必

要となり、館山市との事前協議も必要となります。今回の宅地造成は面積が5千900平方メートルであるため、館山市と事業者の間で事前協議を行っており、その協議において、事業者より道路部分を市に帰属したいとの申し入れがあり、市道認定要綱に適合するため認定するものです。



建設経済委員会の様子

加案 追議

定例会の最終日には、補正予算1件、一般議案1件、人事案件11件、発議案2件が追加議案として上程され、審議の結果、原案どおり可決・同意しました。

◆議案第45号 財産の無償貸付について

館山市立北条幼稚園について、公私連携幼児連携型認定こども園を設置するため、社会福祉法人太陽会に無償貸付するものです。

【討論】 議案第45号

財産の無償貸付について

本会議

【反対討論…渡辺雄二議員】

議決前に無償貸付を条件に事業者の公募を行うことが、事後承認でも良いという認識があるとするれば、それは議会軽視と言えます。さらに、公募から無償貸付に至るまでの経緯も拙速ですので、この



議案には反対します。

解説

「討論」って何？

ある議題に対し、賛成派・反対派に分かれた立場で、それぞれの上場主張を述べ、その結果として議決される。

本会議

【賛成討論…鈴木ひとみ議員】



北条幼稚園と老朽化した中央保育園を合併

し、こども園とすることの必要性は以前から言われてきました。0歳から就学前までの子どもを同じ施設で預けることができれば、きょうだいのいる場合、保護者は大変助かります。「少子高齢化が進む中、子育て環境の整備が大切である」とこれまで訴えてきました。社会福祉法人太陽会による公私連携幼児連携型認定こども園の運営は、館山市の子育て環境の魅力の一つになると考えます。公立では困難でも、民間だからできるサービスがあると考えます。

【賛成討論…東洋平議員】

公私連携幼児連携型認定こども園の土地、建物等は公募段階から、民間事業者の参入



障壁を下げることも目的として、無償貸付が条件となりました。

その後、設置運営法人が選定され、事業者はこの募集要項に即して事業プランを提案し選定されました。万が一、ここで有償に切り替わる場合には、大幅な事業の変更や辞退の可能性をはらみます。施設の老朽化の問題などから進められてきたスケジュールが大幅な修正を余儀なくされ、市の公募案件における信頼を大きく損ないます。土地建物等の有償化によって、提案されているサービスの低下を招くようなことがあつてはならないと考えます。

【賛成討論…石井敏宏議員】



反対討論では、事後承認はおかしい」という意見ですが、議会でこの議決が得られなければ無効という契約もあり、事後承認も議会ではあり得ます。「プロセスが拙速」という意見に対しては、タイトなスケジュールではあつたけれども、内容は

◆議案第46号 令和5年度館山市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ6千651万5千円を追加し、総額256億750万7千円とするものです。

歳入の主な内容は、物価高騰の影響による習い事や体験活動などに係る経費の負担軽減のため、子どもの成長応援臨時給付金として、5千314万1千円などを増額するものです。

歳入の主な内容として、国、県支出金及び、市債を増額するものです。

◆議案第47号から55号 館山市農業委員会委員の任命について

館山市農業委員会委員9名について、山崎日吉さん、杉田恒雄さん、北見富夫さん、中村保宏さん、尾形玲子さん、小田喜承さん、寺田哲雄さん、三上英男さん、山川みき子さんを適任と考え任命するものです。

良いものであり、説明責任も十分に果たされていると考えます。

発議案



発議案を説明する倉田文教民生委員長

◆議案第56号 人権擁護委員候補者の推薦について
人権擁護委員として、引き続き、鈴木照夫さんを適任と考え、法務大臣に推薦するものです。

◆議案第57号 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について
館山市固定資産評価審査委員会委員として、引き続き、江澤正志さんを適任と考え選任するものです。

◆発議案第1号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
請願第1号の趣旨による

◆発議案第2号 国における令和6年度教育予算拡充に関する意見書について
請願第2号の趣旨による

令和5年第2回 定例会提出議案等議決結果

議案等番号	件 名	付託委員会	議 決	結 果
議案第 36 号	令和5年度館山市一般会計補正予算（第2号）	—	原案可決	全会一致
議案第 37 号	館山市立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第 38 号	館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	賛成多数
議案第 39 号	館山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第 40 号	館山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第 41 号	館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第 42 号	館山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第 43 号	市道路線の認定について	建設経済	原案可決	全会一致
議案第 44 号	令和5年度館山市一般会計補正予算（第3号）	総 務	原案可決	全会一致
議案第 45 号	財産の無償貸付について	—	原案可決	賛成多数
議案第 46 号	令和5年度館山市一般会計補正予算（第4号）	—	原案可決	全会一致
議案第 47 号	館山市農業委員会委員の任命について	—	原案同意	全会一致
議案第 48 号	館山市農業委員会委員の任命について	—	原案同意	全会一致
議案第 49 号	館山市農業委員会委員の任命について	—	原案同意	全会一致
議案第 50 号	館山市農業委員会委員の任命について	—	原案同意	全会一致
議案第 51 号	館山市農業委員会委員の任命について	—	原案同意	全会一致
議案第 52 号	館山市農業委員会委員の任命について	—	原案同意	全会一致
議案第 53 号	館山市農業委員会委員の任命について	—	原案同意	全会一致
議案第 54 号	館山市農業委員会委員の任命について	—	原案同意	全会一致
議案第 55 号	館山市農業委員会委員の任命について	—	原案同意	全会一致
議案第 56 号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	原案可決	全会一致
議案第 57 号	館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	原案同意	全会一致
発議案第 1 号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	—	原案可決	賛成多数
発議案第 2 号	国における令和6年度教育予算拡充に関する意見書について	—	原案可決	全会一致
請願第 1 号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	文教民生	採 択	賛成多数
請願第 2 号	「国における 2024 年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	文教民生	採 択	全会一致

賛成

私はこう判断！

反対

令和5年第2回定例会・議案等の賛否 賛否が分かれたもののみ掲載（○：賛成 ×：反対）

議員名	東洋平	渡辺雄二	安田邦春	本澤栄里子	鈴木明子	佐野聖一	長谷川秀徳	倉田孝浩	鈴木ひとみ	石井敏宏	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	石井信重	鈴木正一	秋山光章	鈴木順子
議案番号																		
議案第 38 号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
議案第 45 号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
発議案第 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○
請願第 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。



佐野 聖一議員

2期目・47歳・波左間
市民クラブ
(総務委員会委員)

市職員の職場環境について

問 業務委託の推進などによる事務の効率化が、職場環境の改善につながっていますか。

答 業務委託による職場環境の改善については、事務委託や事務改善を行ったことにより、その事務に関しては職員の負担軽減が図られていると考えます。しかしながら、市民ニーズの多様化、地方分権の進展、さらには頻発する自然災害への対応など、常に新たな行政課題が発生し、業務が増大していることから、職員の労働時間の縮減といった点では数値として表れていない状況です。

問 さらに働きやすい職場環境への取組について伺います。

答 職員数の充足が効果的ですが、短期的には実現困難であるため継続的に取り組んでいきます。実効性を持つものとして管理職のマネジメントが重要です。このほか、職員に必要

な知識や技術を習得させるための研修を効果的に実施するとともに、職員の健康管理として、健康診断や健康相談、メンタルヘルス対策なども引き続き力を入れていきます。

解説 挨拶から始まるコミュニケーションは費用ゼロです。さらに、職員間の意思疎通が良好になり、職場環境の充実にもなると思いますので要望いたしました。

情報発信について

問 多数の手段を用いていますが、何に力を入れ、改善に向けた取組は何ですか。

答 広報紙「だん暖たてやま」、館山記者クラブへの情報提供やホームページ、LINE、ツイッター、フェイスブック及びインスタグラムといったSNSでの情報発信並びに防災行政無線、安全・安心メールといった防災情報の発信など、多数の情報媒体を用いて、情報提供を行っています。どの媒体においても正確かつ、分かりやすい内容に努めています。「目を引くタイトル」、「二文字でも短くし、シンプルな本文」、「現場の状況や発信したい内容に合わせた写真などの掲載」を心掛け、一つひとつの内容が埋められることのないように取り組んでいます。

道の駅

グリーンファーム館山について



鈴木 正一議員

5期目・72歳・神余
新政クラブ
(建設経済委員会委員)

問 グリーンファーム館山は、期待と不安があるところです。来年2月のオープンに向けた現在の進捗状況について伺います。

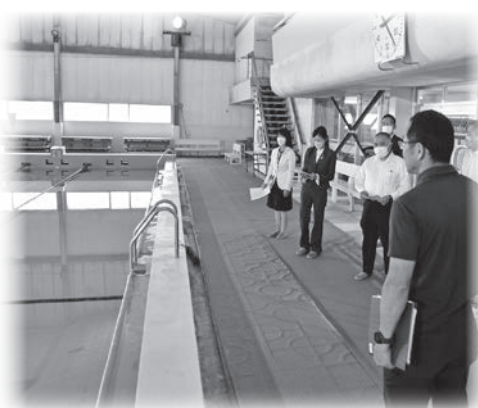
答 建物の外部工事がほぼ完了し、現在、内部工事に取り掛かっています。外構部分については、農園及び調整池の造成がほぼ完成し、外部設備や駐車場工事が進められています。

開業に向けた運営準備は、指定管理者が主となり、その責任のもと、着実に進められています。物販施設に関しては商品の確保が重要となり、現在、農産物について、生産者の募集を行いながら、出荷希望者との契約手続が進められています。

解説 体験価値の高い道の駅を事業コンセプトとして運営することですが、開業に向けた農園の管理、生産者との連携等をしっかりと準備して、指定管理者との連携を図りながら、スピード感を持って取り組んでいただきたいと思います。

市営温水プール

老人福祉センターについて



温水プールを視察する議員

問 両施設について、「来年3月で閉館になる予定である」と聞いていますが、今後の予定を伺います。

答 温水プールについては、8月頃に市民と利用者に対しアンケートを実施し、ニーズ等を把握したうえで、課題や条件を整理し、新たな温水プールの設置の可能性について、今年度末を目途に検討していきます。また、現在の温水プール利用者が、プールに親しむ機会を少しでも継続できるように、代替プールについて検討していきます。

老人福祉センターについては、今年度末で廃止とする方向性案について、利用者や市民の皆様への周知を図り、廃止後は、コミュニティセンターや地区公民館等の利用をお願いしているところです。



渡辺 雄二議員

1期目・50歳・八幡
日本共産党
(総務委員会委員)

学校給食費の

無償化の実現を

問 子育て支援のため、学校給食費を第1子から無償の対象にできないか伺います。

答 公約の「若者が戻ってくる、戻ってきたと思えるまちに」を実現するうえでも大切な施策であると認識しています。学校給食費を無償化するには多額の財源が必要となるため、すぐに全て無償化することは難しいと考えますが、国・県の動向を注視しながら引き続き検討していきます。

解説 学校給食費無償化の流れは多くの自治体にも波及しており、市民からも要望の多い施策です。是非とも実現をお願いします。

高校3年生相当年齢までの

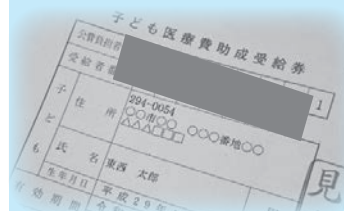
医療費助成について

問 保護者の自己負担金をなくす考えはありませんか。

答 保護者の自己負担金をなくすことは、更なる経済的負担の軽減にな

りますが、市の新たな財源負担を伴うことになるため、市の子育て支援策の中で、総合的に判断すべきものと考えています。

解説 自己負担金は低所得者ほど負担が大きく、受診控えと重症化につながります。子どもの健全な発達を促すためにも実現をお願いします。



子ども医療費受給券

特別養護老人ホーム 待機者ゼロの実現について

問 市内の特別養護老人ホームの空きベッドを有効活用する手立ては取っていますか。

答 各施設が法令等に基づいて、空床利用型のショートステイ等に利用しています。

問 待機者及びその家族に対する支援はしていますか。

答 待機されている方が入所できるまで適切な介護保険サービスが受けられるよう、引き続き介護保険事業者と連携していきます。

解説 全国的に介護職員が不足しているのが現状です。さらなる人員確保に取り組んでいただきたいと思います。



望月 昇議員

4期目・65歳・北条
新政クラブ
(総務委員会委員長)

館山中学校の供用開始に 向けた取組を問う

問 生徒の交通安全対策について伺います。

答 新校舎への移転に向けては、生徒の動線や今後の生徒数の推移、学校の意見等も踏まえて、これまで庁内の関係部署と危険箇所洗い出し等を行ってきました。今年3月には、これらの内容を踏まえて、交通規制の窓口である館山警察署に「要望書及び相談書」を、また、県道・国道の管理者である安房土木事務所に対し「要望書」をそれぞれ提出し、整備を申し入れました。

既に現地確認のうえ、複数箇所での修繕等に着手していると同っています。

特に危険が見込まれる交差点等は、館山警察署との現地協議を予定しており、専門的知見も踏まえて検討いただく予定です。



館山法人会前の交差点

市街地循環バスの 本格運行について

問 実証運行において出された意見、要望等について伺います。

答 便数や運行時間帯の拡充に関する意見が多く、これらに加え、運行エリアの拡大に関する要望や、バリアフリー対策の強化を求める声も寄せられています。

問 本格運行に伴う改善点を伺います。

答 バリアフリー対応として、現在の車両は段差があり、車椅子やベビーカーを利用されている方、足の不自由な方等にご不便をおかけしていますが、この課題を解消し、バリアフリー化を進めるべく、来年1月頃にノンステップの電気バスを導入します。

そのほか、実証運行の利用状況から、ダイヤの変更や連休日を日曜日に変更するなどの改善を加えました。

なお、運賃額を大人100円から200円に変更しましたが、障害者手帳所持者及び免許返納者向けにバス事業者が発行している「ノーカースポット優待証」所持者向けの割引制度導入や、キャッシュレス決済利用者向けの割引、1か月乗り放題となる「定額バス」の販売継続などを通じ、負担軽減に努めています。



市街地循環バス



長谷川 秀徳議員
2期目・61歳・船形
市民クラブ
(建設経済委員会委員長)

市役所の

新庁舎建設について

問 令和4年12月議会で、「現庁舎は10年程度は使えるが、それ以降は延長できない」との回答がありました。今後、厳しい財政状況の中、新庁舎の建設ができるのか伺います。

答 現在のところ、新庁舎の建設地、規模、構造及び必要な機能等の検討が進んでおらず、整備手法の検討もできないため、庁舎等の建設に必要なとなる財源確保の道筋が見えていない状況です。令和14年度の移転が一つの目安になることから、現在実施している大規模事業の進捗を見ながら検討していきます。



現在の市役所庁舎 (S35 完成)

解説 令和14年度に新庁舎への移転とするのであれば、あと9年程しかありません。現時点で、新庁舎の建設地、規模、構造及び必要な機能と建設金額も決まっていない状況は、時間的に厳しいと思います。

令和8年度から始まる、次期館山市総合計画への位置付けから考えていくのですが、できるものからすぐにでも検討を始めるべきと考えます。

ふるさと創生

奨学資金について

問 返還不要の給付型奨学金になりませんか。大学・専門学校卒業生を館山市に就職させるために、卒業後、数年間館山市に住民登録を置き、市税を納入してもらおうシステムにしてはどうか伺います。

答 館山市においては新たな給付型奨学金制度は考えていません。現行制度の「館山市ふるさと創生奨学資金」は、館山市独自の制度として、館山市に住所がある間、毎月の返還額の3分の1を免除しています。

解説 大学・専門学校卒業生が館山市に就職し、納税してもらうことは、館山市にとって財政・経済に大きなプラスになると思います。Uターンという人口減少の歯止めとしての積極的な施策として考えていただきたいと思います。



鈴木 ひとみ議員
2期目・64歳・佐野
新政クラブ
(総務委員会副委員長)

平砂浦海岸の活用について

問 平砂浦海岸の観光資源としての価値について市の考えを伺います。

答 平砂浦海岸は「日本の白砂青松100選」にも選出され、美しい砂浜と豊かな自然環境がともなう魅力的な海岸で、昔からサーファーや釣り人にも人気があります。景観も良く、観光地として魅力あふれる館山をイメージしていただくのに最適な場所の一つであると考えています。

海岸管理者である千葉県各機関にも、観光地である館山市の大切な地域資源であることを共有していただいたうえで施設管理をしていただけるよう、連携しながら美しい砂浜などの海岸エリアを活用し、館山市のイメージアップを図っていききたいと考えています。

解説 平砂浦海岸の施設管理は県ですが、観光資源としての活用は、市が主導で県と話し合えないと進みません。市と県が話し合い、観光資源として平砂浦海岸が活用されることを期待します。

リノベーションの

まちづくりについて

問 令和3年度の委託事業における事業費の使われ方について伺います。

答 遊休不動産を活用して、JR館山駅東口エリアの価値を高めるためのリノベーションによるまちづくりが、持続可能な取組として自走していくことを目指し、官民連携で取り組んできました。令和3年度は、館山リノベーションまちづくり実行委員会への業務委託により、4つの取組を中心に行いました。これらの事業を行うためのセミナーの講師やゲスト登壇者への謝礼金、イベント告知のためのデザイン費、イベント設営のための人件費、会場借上げ料等は、いずれも適正な金額で執行しています。

解説 いくつかの新聞紙上で、「実行委員会が、退任したメンバーの会社」に再委託したことについて監査委員が指摘した」と報道されました。

今後はこのようなことがないよう、事業を行っていたきたいと思えます。



イベントで賑わう駅東口



石井 敏宏議員
4期目・51歳・上真倉
緑風会
(総務委員会委員)

海岸駐車場の 有料化と海岸管理

問 大網白里市では4月末から9月末までの繁忙期に市営海岸駐車場を有料化しており、海岸施設の維持管理経費に充てていますが、館山市でも同じような目的と方法で、新井、北条、八幡などの海岸駐車場の有料化はできないのでしょうか。

答 海岸駐車場の有料化について、大網白里市は千葉県から海岸管理の権限移譲は受けておらず、駐車場部分の占用許可を受け、減免申請を行ってうえで駐車場の有料化を実施しており、平成17年に駐車場等の整備が完了したため、「白里海岸市営駐車場の設置及び管理に関する条例」を制定し、平成17年7月から海水浴場設置期間の料金徴収を開始したとのことです。

館山市については、海岸管理者である千葉県と海岸駐車場の有料化について協議を行いました。地元の館山市が直接、海岸駐車場の有料化を行うには、例えば平久里川河口から館山夕日桟橋までの区間というよう

な一定の範囲を定め、館山市が千葉県から海岸管理者としての権限移譲を受ける必要があるとの見解が国土交通省から示されたところです。

館山市が海岸管理者となった場合、駐車場の有料化が可能となり、市の収入は増えますが、人件費などの料金徴収に伴う支出も増えることになります。また、現在、千葉県が行っている事業を市が実施することになると同時に、管理責任や施設の修繕などの経費、それに係る労力も市が負担することになり、財政的な面に加え、人的な面でも非常に負担が大きいことから、権限の移譲を受けることは困難であると考えています。したがって、現時点においては、館山市が海岸管理者になり、海岸駐車場を有料化することについては難しいものと考えています。

館山市
としては、海岸駐車場の整備・管理主体である千葉県に対し、有料化を含めた適正な管理について、引き続き要望していきます。



夏季の北条海岸駐車場



秋山 光章議員
6期目・76歳・大井
市民クラブ
(建設経済委員会委員)

市長の政治姿勢について

問 「都会に出た人たちが戻ってこれるまちを作る」と言いますが、何人くらいの方がUターン・Iターンとして地元館山市に戻ってくることを目標としているのか伺います。

答 具体的な人数は言えませんが、人口減少という流れは全国的な傾向であり、館山市が独自で止められるものではなく、一定数の若者が市外に転出することは避けられません。

子育て支援策の充実を基礎にしながら、「館山に行けば何かができる、何かが変わる」と感じてもらえるような、起業しやすい、就農しやすい土壌、環境づくりを市民の皆様と共に一歩一歩着実に進め、人口減少を抑制し、移住定住を促進していきます。

解説 「目標を立てて市長の想いを職員全体で達成できるようにするべき」と要望しました。

また、館山市を元気にするために、次の内容を市長へ提案しました。

○館山に住み、生活することで税收等のアップにつながる施策として、千葉以北の遠距離通勤、通学者の定期

代金を一部補助してはどうか。
○企業誘致について、館山は東京や横浜等の大消費地が近く、気候も温暖です。館山市が所有する千葉県から譲渡された約40ヘクタールある旧工業団地用地等の広大な遊休不動産を貸付等してはどうか。

○資生堂創業者の方が館山出身で資生堂のマークが花椿です。館山市の木が椿で一致しますので、館山市と資生堂をつなげるために椿を植えて、椿油を資生堂に買ってもらうなど、資生堂を誘致できればよいと思います。

○館山夕日桟橋について、現在、市では、桟橋の拡張を県に要望しています。年間一、二隻しか来ない豪華客船は、着岸しても乗船客は船内で食事をするので、館山市に多くのお金は落ちないと思います。

したがって、館山市の経済のためには、豪華客船よりも、ヨットやプレジャーボートを誘致するためには、浮桟橋（ポンツーン）を設置したほうが良いと考えます。



館山夕日桟橋の先端部の拡張工事（R4）

解説 現在、地方都市においては、少子高齢化に伴う大幅な人口減少問題に直面し、移住促進のため様々な施策を打ち出しており、パイの奪い合いの様相を呈しています。生産年齢人口の中心層である子育て世代や若者の移住・定住を促進するには、更に子どもに配慮した施策や就労者の賃金アップ、企業誘致など、様々な手を打つべきと考えます。

問 ビジョンの中の移住定住・就業促進事業について取組状況を伺います。

答 南房総市及びNPO法人おせっ会との連携による移住相談対応や、おせっ会のYouTubeチャンネルでの情報発信、東京で開催した移住相談会への参加に加え、両市合同の移住セミナーを実施しました。また、移住促進に向けた経済的な支援策として、子育て世帯の移住者に対する民間賃貸住宅の家賃助成や、東京圏からの移住者に対するUIJターン移住支援金の交付を行っています。



鈴木 明子議員
1期目・63歳・山萩
公明党
(文教民生委員会委員)

定住自立圏構想

共生ビジョンの取組について

ヤングケアラーへの支援について

問 ヤングケアラーの把握・調査方法・支援の取組状況について伺います。

答 学校・地域・医療・庁内各課等との連携により実態を把握しています。特に学校では担任や養護教諭などとの面接、生活アンケートを通じて家庭環境や学校生活の変化・悩みごとなどを把握し、情報共有しています。把握できているケアラーは、現在6人です。

解説 千葉県は全国でも突出してヤングケアラー率が高いとの調査結果が出ています。館山市もまだまだ把握できていないケアラーがいることが想像できます。また、その実態は、家族の世話や家事に追われ、学業や部活動、修学旅行などの行事への参加に支障をきたし、友人関係にも大きな影響が出ています。地域をはじめとする多くの人々が、ヤングケアラーの把握に高い意識を持ち、支援につな

げ、社会の宝である子どもたちを育む、温かい館山市であっていただきたいと念願します。



AEDの備えについて問う



鈴木 順子議員
9期目・73歳・下真倉
じゅん風
(文教民生委員会副委員長)

問 目の前で人が倒れ、呼吸に異常を感じた際、AEDの使用で命が助かった事例があります。千葉県のAEDのポスターには「誰でも使えるAED」と記載されています。館山市内には何台のAEDがあり、設置場所の情報はどこ周知されているのですか。



千葉県のAEDポスター

答 AEDは、市が管理する施設に47台設置しており、場所については県が公開している情報も併せて、館山市防災マップに掲載しています。さらに民間の事業所などが設置している情報は、ウェブで公開している全国AEDマップで確認できるのど身近な場所のどこにAEDがあるのか確認していただきたいと思います。



館山市防災マップ

問 自主防災組織などがAEDを購入する場合の支援について伺います。

答 自主防災組織補助金の対象となり、事前に申請をすることで費用の2分の1、かつ上限20万円として補助を受けられます。

問 AEDの講習や啓蒙活動の必要性をどのように考えていますか。

答 AEDの講習では、専門の知識や経験が必要なことから、安房郡市消防本部の職員を講師として、館山市の出前講座などの機会も活用し、啓発を行っています。

解説 「AEDは、公民館等の公共施設の全てには設置されていない」と聞いています。市民が集まる施設には必ず設置するよう求めます。AEDの購入については、高額なメンテナンス料金が含まれるリースという方法もあるので検討すべきと考えます。AEDの活用については理解を得られるよう、講習と啓蒙の両面からの活動を求めます。



AED (市役所玄関口ビー)



瀬能 孝夫議員
4期目・65歳・佐野
公明党
(建設経済委員会委員)

低投票率の改善策を問う

問 低投票率の改善に向けた取組について伺います。

答 小中高等学校では主権者教育を行っており、政治や選挙に対する関心を高め、主体的に社会に参画する力を育んでいます。市民への投票意識の醸成については、広報紙、ホームページ、SNS、防災行政無線、安全安心メールなどにより、投票を呼びかけています。投票困難者への対応については、移動期日前投票所の設置などを検討していますが、投票管理者や立会人、職員の確保などが課題です。しかしながら、投票率の低下は深刻な状況にありますので、利便性の向上への議論を、引き続き進めていきます。



解説 投票率は下がり続けています。1986年の参院選までは概ね70%を超えていましたが、1997年に投票時間を午後6時から8時まで2時間延長し、2003年からは期日前投票を導入しました。そして2016年の18歳選挙権の導入は、1925年の普通選挙法、1945年の婦人参政権にも並ぶ歴史的な出来事でしたが、投票率の回復には至っていません。このことから、投票環境の改善も大事ですが、投票意識の向上につながる施策がより重要になると思われます。

多胎児世帯への経済的支援を問う

問 多胎児世帯への経済的支援について伺います。

答 多胎児育児は、出産費用や入学準備費用など経済的に大変であり、多胎児世帯への支援は重要であると考えています。今後、多胎児を育てる子育て世帯に対して、どのような支援ができるか、先進自治体などの事例を研究し、検討していきたいと思っています。

解説 多胎児支援を実施している自治体には滋賀県栗東市が挙げられますが、他にあまり例がなく、まさに稀有な施策です。本市がバイオニア的存在となつて多胎児支援事業を展開し、それを県内はもとより全国に示してほしいと思います。

館山駅東口前の再建と公共交通の維持について



東 洋平議員
1期目・38歳・長須賀
市民クラブ
(総務委員会委員)

問 老朽化する市役所庁舎の新設場所についての検討状況と、市役所庁舎を駅前津波対応型の建物(避難ビル)として新設してはどうかと考えますが見解を伺います。

答 新庁舎の場所は、現在、安房地域の行政機能の拠点として、国や県等と連携して整備が進められている旧県立安房南高校跡地を第一候補地として考えています。駅前は津波浸水想定区域であることから、万が一津波による浸水が起きた場合、庁舎としての機能を確保できない恐れがあり、適合性は低いと考えます。



館山駅東口前



旧県立安房南高校跡地

解説 免許返納者が増加する中、駅前がより便利になることが公共交通の維持にもつながると考えます。仮に庁舎の可能性が薄くとも、「駅東口は歩いて生活できるエリアに」といった総合的なまちづくりを、地権者、公共交通事業者、商店、地域住民らと早期に協議していく必要性を訴えました。

官民連携のまちづくりについて

問 官民連携を適切に進めるための指針について伺います。

答 統一的な指針等はありませんが、指定管理者制度については、「指定管理者制度モニタリングマニュアル」を作成し、委託業務については、適切に行われているか所管課で検査を実施しています。

解説 人材不足や財政難を背景に、当市でも官民連携事業は数多く実施されています。一方で、市民福祉の最大化を図る「官」と、利益を前提とする「民」とでは、そもそものベクトルが異なり、連携は単純ではありません。

市政運営が難局を迎える中、全国では条例などを定めて、民間の力を有効に活用する自治体が増えていきます。連携の効果を最大化し、トラブルを避けるためにも基本的な考えをまとめた指針の整備を求めました。



表紙写真を募集中！

たてやま議会だより

☆募集する写真

四季折々の風景や祭り、行事など、館山市内で撮影された季節が感じられる写真

☆応募資格

館山市在住、在勤または在学の方

☆応募方法

作品に撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送（CD等に保存）、または電子メール（受信の都合上、1～3MB）で館山市議会事務局へお送りください。

メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp

詳しくは、「市議会ホームページ」

をご覧ください。⇒⇒⇒⇒⇒⇒



市議会を見たい・知りたい

館山市議会の情報は、議会だよりのほか、パソコンやスマートフォンからインターネット中継、市のホームページなどから確認できます。

やってみよう！



市のホームページ検索



LINEで
簡単に情報
GET



館山市の公式ラインを登録することで、議会だよりや議会の情報が配信されます。



9月定例会の日程（予定）

開会日：9月 1日（金）午前10時～
一般質問：9月 6日（水）午前10時～
 9月 7日（木）午前10時～
（予備日）：9月 8日（金）午前10時～

YouTube 市議会を動画配信



本会議の様子をYouTubeで配信しています。自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継（ライブ動画）や録画（生中継終了後2日程度後からおおむね2か月間）で視聴できます。

新人議員が公共施設を視察

～新人議員研修～

4月の市議会議員選挙で初当選した5人の議員が、新人議員研修の一環として、下水道処理施設や図書館、シビエセンターのほか、利活用が予定されている旧富崎小などの公共施設を視察しました。

都市計画道路事業として進められている船形バイパスの建設地では、都市計画課の説明に対して議員から多くの質問が出るなど、事業への理解を深める大変有意義な研修となりました。



船形バイパス

議会基本条例研修会を開催

～4年に1度 全議員が初心に立ち返る～

館山市議会の理念と基本原則を定めている「館山市議会基本条例」の研修会が開催されました。

この研修会は、4年に1度の議員選挙後に開催しています。瀬能副議長が講師を務め、議会と議員の役割や、条例の3本柱となる「市民に開かれた議会」、「議員同士が討論する議会」、「自らが行動し、執行機関と切磋琢磨する議会」などを、議員全員が改めて確認しました。



議会基本条例研修会

ご案内



議会報告会 10月28日(土)開催

議員が市民の皆様へ直接、議案審査の内容を説明、報告するとともに、身近なテーマについて皆様と意見交換を行います。

日 時：10月28日(土)

午前の部 10時～11時半

(開場 9時30分)

鈴木順子、鈴木正一、石井敬之、望月昇、瀬能孝夫

長谷川秀徳、佐野聖一、本澤栄里子、渡辺雄二

館山市マスコットキャラクター

ジュンペエ

© studio crocodile・館山市

午後の部 14時～15時半

(開場 13時30分)

秋山光章、石井信重、太田浩、石井敏宏、鈴木ひとみ

倉田孝浩、鈴木明子、安田邦春、東洋平

会 場：館山市役所 本館2階会議室

内 容：①議案審査の説明と報告 ②意見交換(テーマ：公共施設の再編)

参加方法：申込不要

問 合 せ：議会事務局(☎22-3527)

ご来場を
お待ちしております

編集後記

市議会議員選挙後の5月から新任期に入りましたが、改選後初めての定例会が6月に行われました。

「定例会」とは毎年3月・6月・9月・12月に開催される4回の議会のことです。ほかに1日単位の「臨時会」も年に数回あります。

改選で初当選された5人の新人議員も精力的に活動しています。館山市議会では1期目から活躍できるように、新人研修などを行っています。2期目の議員も4人で、全18議員のうち、9人が1期目と2期目となり、女性議員も過去最多の4人になり、議会にも多様性が生まれてきました。今後とも、活発な議論をこの「議会だより」で伝えていきたいと思っています。

(石井敏宏)

【広報広聴委員会】

委員長 瀬能孝夫

副委員長 石井敏宏

委員 秋山光章 鈴木正一

鈴木ひとみ 倉田孝浩

長谷川秀徳 安田邦春

※議会や議会だよりに関するご意見、ご質問は議会事務局まで電話またはメールでご連絡ください。

(電話番号及びアドレスは下記を参照)



再生紙

たてやま議会だより ●No. 142 ●発行／館山市議会 ●〒294-8601 館山市北条1145-1

●電話0470-22-3527 ●議会事務局メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp